



B-DASH プロジェクト 「単槽型硝化脱窒プロセスの ICT・AI 制御による高度処理技術実証事業」 実証研究施設の完成式典を開催しました

日本下水道事業団（JS）では、国土交通省が実施する平成 31 年度下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）※として採択された「単槽型硝化脱窒プロセスの ICT・AI 制御による高度処理技術実証事業」をメタウォーター(株)・JS・町田市の 3 者からなる共同研究体で実施しています。

本技術は、ICT（情報通信技術）と AI（人工知能）を活用することにより、反応タンクの流入負荷変動に対して空気量を適切に制御するとともに、送風機の最適吐出圧力を必要空気量からリアルタイムに演算し、吐出圧力を自動制御することで、従来の高度処理法（A20 法等）よりも短い時間で同等の処理水質を達成するとともに、使用エネルギーの最小化、維持管理業務負担の軽減を実現する技術です。

本実証研究は、令和元年 7 月に着手し、実証研究施設の建設工事を実施してまいりましたが、このたび実証研究施設が完成したことを記念して、令和 2 年 1 月 14 日に町田市成瀬クリーンセンターにおいて完成式典を開催しました。

式典では、石阪丈一 町田市長、辻原俊博 JS 理事長、中村靖 メタウォーター(株) 代表取締役社長による主催者挨拶の後、ご来賓を代表して、植松龍二 国土交通省 水管理・国土保全局下水道部長、小倉将信 衆議院議員、若林章喜 町田市議会議長よりご祝辞を頂きました。その後、ご来賓ならびに共同研究体の代表者によるテープカットが行われました。また、式典終了後、実証研究施設の見学会が行われました。

JS では、これまでの B-DASH プロジェクトにおける豊富な経験や、JS 創設以来、長年にわたり積み重ねてきた下水道技術の開発に係る知見を最大限に活かすことにより、本実証研究の所期の成果が得られるよう、取り組んでいく所存です。

※：下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）：下水道における新技術について、民間企業、地方公共団体、大学等が連携して実規模レベルの実証研究を行うものであり、国土交通省国土技術政策総合研究所の委託研究により実施する。



町田市 石阪市長



JS 辻原理事長



メタウォーター 中村社長



国土交通省 植松下水道部長



司会 水の天使 西尾 菜々美さん



式典の様子



式典後の見学会



式典後の見学会

<問い合わせ先>
 技術戦略部 次長 橋本 敏一
 TEL: 03-6361-7849
 E-mail: Hashimotot@jswa.go.jp